



第98号

2025.3.1

あゆみ

NPO 法人ユーアイやちよ

276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1

TEL047-482-4109 FAX047-482-4179

E-mail ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

訪問介護フォーラムに参加して

記：網干



2月9日（日）の午後、オークラ千葉ホテルで訪問介護フォーラムが開催されました。テーマは「あなたは、誰に介護を託しますか！？～地域で幸せな最期を迎えるために～＜「訪問介護」が消える日＞」でした。

「訪問介護」が消えると書かれていて、驚かれたのではないのでしょうか？

八千代市に住んでいると、訪問介護が無くなるなんて想像できませんが、日本全国を見ると、訪問介護事業所のない自治体が2024年12月末現在で107町村もあります。しかも、2024年6月末は、97町村だったのです。わずか半年で10町村も増えました。1事業所しかない自治体が2024年6月末で277市町村、2024年12月末で272市町村です。総事業所数も6月末時点で35,078が34,499に減っています。処遇改善加算で、訪問介護を行う人の給与は、わずかですが増えていますが、2024年4月の改定で、訪問介護の基本報酬は、2%以上の引き下げになりました。この影響が大きく出ている状況です。当法人も決して他人ごとではなく、非常に厳しい状況に直面しています。

このような背景の中で、「NPO 法人 暮らしネット・えん」の代表理事 小島美里氏から大変有意義な話をお聞きました。みなさんにご存じだと思いますが、ここ数年で、京成の駅にもエレベーターが設置されるようになりました。JRでも少し大きな駅には設置されています。これは鉄道会社のサービスの一環だと思っていたのですが、これが実現したのは、実際に障害を持つ人たちと、何度も必要性を訴え続けたおかげだという事です。私たちは、厚労省や役所が決めたことを守るために、一所懸命になっていますが、役人がさまざまな実情を知っているとは限りません。現場の人たちが訴えていかなければ良くなることもない状況です。

政府は、経済活性化のために賃金を増やすことが重要と主張し、大手企業では賃金を大幅にアップしています。しかし、介護職員等の処遇改善加算の目標は、全産業の平均賃金と同額の年収を達成する人を1人でも作りなさいという程度です。物価が大幅に上昇していますが、介護職員の賃金改善は、物価上昇よりもはるかに少ない処遇改善加算が設定されていて、基本報酬は下げられています。このような状況の中で、経営できずに廃業する事業所や、倒産する事業所がどんどん増えています。このままでは介護保険料を払っていても、必要な時にサービスを利用できないという状況がすぐ近くまで迫っています。

訪問介護が減ってしまえば、地域包括ケアシステムは機能しません。私たちも、機会を見つけて声を上げていきたいと思います。声を出さなければ何も変わらないという事を肝に銘じて。そんなことを学ばせていただいたフォーラムでした。

ユーアイやちよ 支えあい活動推進中 !!

【小さなお手伝いの活動報告】 記：山崎タキヨ

令和6年4月から令和7年2月までの11か月間で主に行った活動を報告します。

- * ゴミ出し 537回
- * 診察券出し及び支払い代行 16回
- * 簡単な家の修繕 2回

この活動のサポーターは、ボランティア会員さん数名の方とヘルパーさんとして活躍されている協力会員さんが共に協力しながら活動した成果です。



『 中村久子さんの生涯 』

記：網干

みなさんは、中村久子さんという両手両足のない障がい者の方をご存じでしょうか？

中村さんは、明治30年に岐阜県で生まれました。3歳の時に凍傷が元で、突発性脱疽となり、手術するかどうか家族が迷っていたら、左手の手首が腕から落ちてしまい、両手両足の多くを切断することになりました。



7歳の時に、とてもやさしかった父親を亡くし、10歳の時には、弟が児童施設に送られて離れ離れの生活となります。両手両足がなくても、自分のことはすべて自分でできなければならないという母親の教育方針の下、排泄も調理や裁縫もすべて自分でできるように努力を続けました。厳しい母親を鬼のように思った時期もあったそうです。しかし、中村さんが生き抜いていくうえで、その努力は大きな力になりました。

父が亡くなった後、母は再婚しますが、そこで虐待も受けます。自分が縫ったものを友人にプレゼントしたら、友人の母親は「つばだらけの不潔なものは受け取れない」と、中村さんの目の前で川に投げ捨てたそうです。中村さんは大きなショックを受けましたが、それからさらに努力して、縫物や糸につばを付けなくてもできるようになったそうです。

青年期になると、見世物小屋に身売りされる形で送られ、だるま娘という名前で働くこととなります。両手両足のない体で、書道や裁縫、編み物などを芸として披露します。

結婚して子供を儲け気丈に育てます。若くして、祖母や夫の死も経験した中村さんは、母親の影響があると思いますが、「恩恵にすがって生きれば、甘えから抜け出せない。一人で生きていかなければならない。」と決意し、国による障害者制度の保障を受けることを拒否しました。

41歳の時にヘレン・ケラーと出会い、自分で作った日本人形をプレゼントします。ヘレン・ケラーは、中村さんを「私より不幸な人、私より偉大な人」と表現したそうです。

その後は、講演活動が主体となり、全国の障がい者や健常者に大きな生きる力を与えました。そして、昭和43年に高山市の自宅でお亡くなりになりました。

中村さんは、短い腕と棒を使って糸をつかみ、口にくわえた針に糸を通していたそうです。2本のひもを口の中で結ぶこともできたそうです。マッチも口にくわえて火をつけたそうです。「どうしてこんなことができるのか？」と思いますが、決してあきらめずに努力を重ねられたのだと思います。さらに、生まれつき寝たきりの女性に出会ったときは、その方の明るさに心を打たれ、自分の至らなさを強く反省したこともあるそうです。晩年には、自分を育ててくれた母親への恩を形にしようと、高山市のお寺に両手両足のない幼子を抱えている女性の像を寄贈したそうです。



私たちは、中村さんの真似はできず、すぐにあきらめたり、「できない」と拒否しますが、このような方がいたという事を心に刻み、自分を謙虚に見つめなおすことが大切だなと思いました。時にはこの様に思ったりしますが、明日になると、またいつもの様に変わらない自分を生きてしまっていると思いますが…。

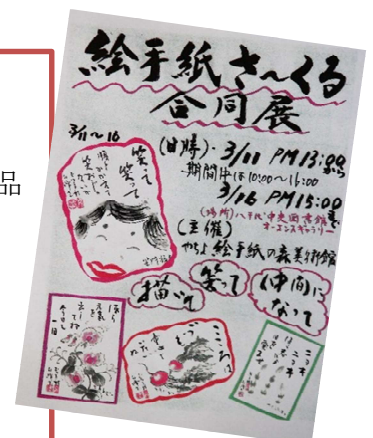
★『絵手紙さーくる合同展』に松尾忠正さんが作品を出品！

いつも八千代台事務所に絵手紙をくださっているボランティア会員の松尾さんが、下記のとおり開催される『絵手紙さーくる合同展』に作品を出品します。ご都合をつけてぜひ足をお運び下さい。

日 時：3月11日（火）13:30～3月16日（日）15:00まで
（期間中は10:00～16:00）

場 所：八千代中央図書館オーエンスギャラリー

主 催：やちよ絵手紙の森美術館



「居場所づくり担い手養成講座」に参加しました！

語らいパートナーの会 池田 二郎

2月28日、村上地域包括支援センター主催の「居場所づくり担い手養成講座」が村上安心安全センターで行われ、講師としてお招きをいただきました。

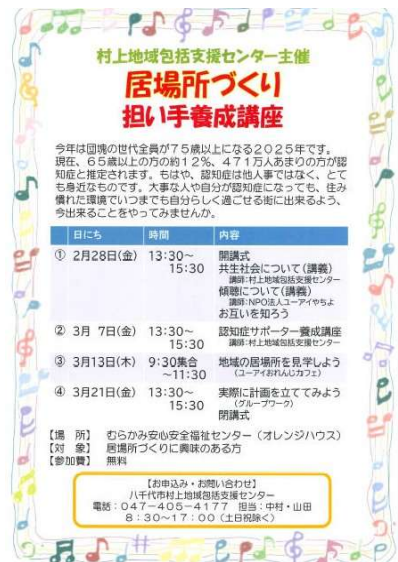
この日を初日として、全4回の講座です。主に村上地区にお住いの女性13名、男性2名が参加してくださいました。中には、ユーアイやちよの元ヘルパーさんも居られ、懐かしくお話をさせていただきました。

初めにセンター長の山田様から「地域共生社会について」の講義があり、次にユーアイやちよの「傾聴について」というテーマで、傾聴活動の紹介と、傾聴に臨む際の基本的な姿勢等のお話をさせていただきました。

参加者の皆さんが、メモを取りながら熱心に聴いて下さる姿を拝見し、果たしてこんな説明でどれだけ伝わったかと自省しております。

その後は、「お互いを知ろう」のテーマで自己紹介を含めた座談会です。笑顔あり、笑いありの和やかな雰囲気の中での座談会でした。なお3月13日の第3回目は、ユーアイやちよが運営している「ユーアイおれんじカフェ」を見学するプログラムとなっています。

今回は、「居場所づくり担い手養成講座」でしたが、傾聴活動をさせていただいていること自体が、私にとっての「居場所」であることを再認識した次第です。



－ 苦情・ミス記録・ヒヤリハットから －

(他のヘルパーさんのミスでも、それを教訓にして、ミスを防ぎましょう。)

★ **訪問忘れ・・・** 計画されていた訪問を忘れてしまうミスが発生しました。ご利用者から事務所に電話連絡があり、30分遅れで訪問しました。ご利用者が寛大な方で、お叱りを受けることはありませんでしたが、大変なご迷惑をおかけしてしまいました。

今回のミスは、単なる忘れというよりも、前日もしくはその日の朝に、訪問予定を月間訪問予定表で確認すれば防ぐことのできた事例です。単に「気を付ける」だけでは防げませんので、毎日「訪問予定表」を確認する習慣をしっかりと身につけてください。

★ **薬の準備忘れ・・・** ご利用者のショートステイ利用に伴い、その準備のためにヘルパーが訪問しましたが、ショートステイ先で服用する薬を3日分用意すべきところ、2日分の準備しかしませんでした。

一包化されたパックをお薬カレンダーから外して、バッグに入れるのですが、2日分しか入っていないのに、3日分入れたと思い込んでいたことが原因です。お薬カレンダーから外した段階で、パックに書かれた日にちを確認すべきでした。

【健康診断のお願い！】

毎年、健康診断を受診していただき、ありがとうございます。

来年度（2025年4月～2026年3月）も確実に健康診断を受け、自身の健康状態を把握してください。また、法人としても、働くみなさんの健康状態を把握する必要がありますので、医療機関から発行された受診結果を事務局に提出してください。

ご自身の病気で受診した際に血液検査等をしていても、それを健康診断とすることはできませんので、市で実施している健康診断を必ず受診してください。

費用については、各自立て替えていただき、領収書を提出していただくと、規定による補助が出ます。



～ ★会員リレーメッセージ～

高梨文子さん



- | | |
|---------------------|---|
| 1. ユーアイやちよでの職務と勤務期間 | ヘルパーとして2年2ヶ月 |
| 2. 好きな言葉 | 『我以外皆我師』 |
| 3. 仕事に当たって心がけていること | 毎回のご利用者の心身の変化に留意しております。
同時に自分の健康管理をしています。 |
| 4. ご利用者から教えていただいたこと | 調子の悪い時も笑顔で迎えてくださり、帰りにも「気をつけてね!」と声掛けしてくださる心遣いに感謝し、私も思いやる気持ちを持ち続けようと、教えていただくことがとても多いです。 |
| 5. 仕事をしていてうれしかったこと | ご利用者から「来てもらうととても嬉しく元気に明るくなれる」と、話していただいたことです。 |
| 6. 仕事以外の趣味や楽しいこと | バレエ、宝塚観劇、亀のお世話（成長が楽しみです） |

【賛助会員の皆様のご協力】

賛助会費をありがとうございます！

賛助会費は、「地域支援費（傾聴ボランティアや小さなお手伝いの活動費）」および、「移動サービス（福祉有償運送）に使用する福祉車両の整備費」等に活用させていただきます。

昨年11月以降、宮崎みどり様、宮崎順子様から賛助会費をいただきました。

大変ありがとうございます。

新しく賛助会員になっていただける方、今後も継続していただける方は、お電話をいただければお伺いします。

振り込みいただける方は、電話で連絡いただいたのち、下記口座にお願いいたします。

振込先：千葉銀行新八千代支店（普通）3266357

口座名義人：特定非営利活動法人ユーアイやちよ 代表理事 網干 勝

電話番号：047-482-4109



【行事報告】

- 1月 定例会（接遇、プライバシー保護）
- 1/16 『語らいパートナーの会』勉強会
- 1/22～2/19 傾聴養成講座開催
八千代市社会福祉協議会と共催
- 2/9 訪問介護フォーラム
- 2/28 『居場所づくり担い手養成講座』
池田二郎さんが「傾聴について」の講義
主催：村上地域包括支援センター

【今後の予定】

- 3/17 定例会（事故発生予防・緊急対応、ハラスメント対応、ケアウイング活用）
- 3/20 『語らいパートナーの会』勉強会
- 3/29 ユーアイボランティア親睦会
- 5月 定期総会・定例会
- 6月～8月 職員面談



令和6年傾聴ボランティア養成講座が開催される！

去る1月22日から2月19日に八千代市社会福祉協議会との共催で、傾聴ボランティア養成講座が5回に渡り開催されました。

28名の受講生の方々は、高橋京子講師（佐倉市『ひびき』代表）の講義を熱心に受講され、希望する受講者は、現地での体験活動にも参加されました。これからの活動が楽しみです。